

茨城県農産物販売推進東京本部情報

令和元年(2019年)11月

1 東京都中央卸売市場(2019年1-10月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約157万tで、前年比1%増、金額は約4,368億円で前年比8%減となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約17万tで、前年並、金額は約431億円で前年比11%減となった。

(金額の内訳は、野菜約350億円、果実約81億円。前年同期比で野菜13%減、果実2%減、平年同期比で野菜11%減、果実平年並。)
 金額が【増加】した品目(前年対比)：かんしょ(103%)、いちご類(105%)
 金額が【減少】した品目(前年対比)：はくさい(43%)、みず菜(75%)、こまつな(84%)、メロン類(96%)

茨城県の青果物入荷量は平年比2%減(シェア11.0%)、取扱金額は同9%減(シェア9.9%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1-10月計)			
	1-10月計	年間計	年間比	1-10月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	2019	1,566,078		173,005	←シェア(11.0%)		10.2%	10.7%	3.4%	
	H30	1,555,271	1,907,279	81.5	172,820	225,946	76.5	10.2%	10.8%	3.5%
	(前年比)	101			100	シェア(11.1%)				
	平年値※	1,623,397	1,978,757	82.0	177,053	228,350	77.5			
	(平年比)	96			98	シェア(10.9%)				
金額	2019	436,786		43,124	←シェア(9.9%)		7.2%	6.0%	6.1%	
	H30	473,329	568,808	83.2	48,536	56,745	85.5	7.6%	6.2%	5.7%
	(前年比)	92			89	シェア(10.3%)				
	平年値※	465,037	563,980	82.5	47,401	57,101	83.0			
	(平年比)	94			91	シェア(10.2%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成26～30年の5か年平均。
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》 茨城県：金額シェア(10.0%)、数量シェア(11.8%)
 平成30年実績 千葉県：金額シェア(7.8%)、数量シェア(11.0%)
 (1～12月計) 北海道：金額シェア(6.1%)、数量シェア(10.7%)
 栃木県：金額シェア(5.8%)、数量シェア(3.4%)

2 東京都中央卸売市場(令和元年10月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約16.5千トン(100%)、単価は226円(79%)、金額は約37.2億円(79%)
 果実類の入荷量は約0.8千トン(84%)、単価は461円(109%)、金額は約3.5億円(91%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成26～30年同月の5か年平均値との比率

	品目	数量(t)				単価(円/kg)				金額(千円)		
			前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比%	平年比
野菜	レタス類	4,642	107%	100%	98%	139	71%	72%	73%	645,614	76%	71%
	ピーマン	1,319	106%	112%	113%	383	74%	96%	95%	505,514	79%	107%
	れんこん	830	95%	94%	94%	369	90%	85%	85%	305,882	85%	80%
	トマト	571	92%	69%	96%	393	91%	107%	103%	224,789	84%	74%
	野菜総計	16,459	100%	90%	97%	226	79%	89%	90%	3,722,831	79%	81%
果実	くり	312	76%	90%	91%	673	118%	107%	109%	209,797	90%	96%
	果実総計	762	84%	83%	90%	461	109%	111%	113%	351,486	91%	92%

(野菜)

10月上旬は気温が高く消費が振るわない中、入荷増となった品目が多く販売は苦戦した。中旬は台風19号の影響により入荷量は減少したものの、下旬は回復し平年以上の入荷となった。
 本県のレタス類は9月の台風15号の影響はほとんどなく順調な出荷となり、10月上旬は前年・平年以上の入荷となった。台風19号により葉の傷みやとろけが発生し、剥き玉での出荷が増え、中・下旬は数量がやや減少した。10月計としては上旬の入荷量の多さから前年・平年より多く、上旬の荷動きの悪さや品質低下により単価安となった。

(果実)

果実も野菜同様台風により10月中旬の入荷量は減少した。販売の中心となる極早生みかんは入荷量が少なかった。長野県産りんごの入荷量は前年を下回ったが、青森県は前年を上回る入荷となりりんご全体としては前年より数量増となった。果実全体としては前年をやや下回り、平年比90%となった。
 本県産のくりは、やや小玉傾向だったうえに台風で落果し、数量が前年を大きく下回った。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出